

学級活動指導案 (想定される領域・教科:生活単元学習、自立活動)

1 題材名「きれいに顔をあらおう」

2 本時のねらい

- ・顔を洗うための方法を知ることができる。
- ・手や腕の使い方や身のこなし方を体験することができる。
- ※高学年になると、宿泊学習や修学旅行など、宿泊を伴う学校行事に参加する。

こうした機会を学習のチャンスと捉え、本時の取り組みを一度だけではなく、定期的に繰り返し行うことで、児童の生活スキルの向上が図れるのではないかと考える(今回の洗顔に限らず、食事や手洗い、歯磨きなども、定期的に繰り返し行うことが望ましい)。

3 番組の活用について ※宿泊学習や修学旅行の事前学習の一つとして活用することも考えられる。

- ・顔を洗う手順を知り、やってみようという意欲を引き出すことができる。
- ・簡単なゲームを通じて、できる感覚を味わうことができる。

4 本時の流れ

主な学習活動と内容 (45分×2時間)		指導上の留意点
	① 本時の学習内容を確認 きれいに顔をあらおう	・児童が、学習の見通しをもてるように、本時の学習内容を視覚的に提示する。
	② 映像視聴 □ ~1'22「きれいに顔をあらおう?」まで 問「今朝、起きてから顔をあらった人?」と質問をする。 ○実際にどうやって洗えばいいのかを動画で確認する。	・教室の明るさや画面の照り返しなど、視聴環境に注意する。 ・「顔を洗う」意識を高めるようにする。
	③ 映像視聴 □ ~2'20 怪人出現の警告音まで 問「動画のように洗った人いますか?」などと質問する。 映像の内容を実際に確認してみる ○教師が実践して実際に確認してみる。 T1は手順を確認しながら解説をし、T2は実際に児童の目の前で洗顔を実演する。	・自分自身の行動を比較したり振り返ったりすることができるようにする。 ・黒板などに、洗顔の手順を提示する。 ・毎日洗っているなどといった児童がいれば、代表して手本を見せてもらってもよい。
	④ 映像視聴の続き □ ~5'04「そうか!よし!」まで	
	【本時のポイント①】 「なでる」と「あらう」の違いについて考える。 問1 「“なでる”ってどういうことかな?」 ・実際に動作をやってもらおう。 問2 「“髪の毛”で考えてみたらどうだろう?」 ・それぞれの動きがどう違うか比べてみる。 問3 「では“顔”で考えてみたらどうだろう?」 ・どちらの動作が汚れを落としやすいか?	・児童の反応を拾い上げたり、称賛したりして、「なでる」についてイメージを膨らませることができるようになる。 ・それぞれの違いについて、イラストや文字で提示し、可視化することで、イメージをもちやすくする。
	⑤ 映像を最後まで視聴 □ ○ストレッチ場面では、映像に合わせてストレッチをする。 ※動画を6'58で一旦止め、更に入念に行ってもよい。	・実態に応じて動作補助の支援をする。 ・伸ばしている部分を手で触るなど、感覚的に理解できる支援を行う。



	<p>⑥ 簡単なあそびをする（時間や状況に応じて選択する）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○顔さわりゲーム ○両手で顔さわりゲーム ○すくい取りゲーム（有形物） スポンジ以外にも、卓球ボールやフェルトボール、豆類などでもよい。さらに、ダンボールを2cm角程度に切ったものでも可能。 ○すくい取りゲーム（水） 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本の確認やルールの理解を図る。 ・上記のゲームとセットで行う。 ・児童の実態や特性に応じて、すくい取るものを変えることで、達成感を味わうことができると同時に、手の形を確認しながら取り組むようにする。 ・手の形を再確認してから、取り組む。
	<p>⑦ 本時の振り返りとまとめをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習を大まかに振り返る。 板書を活用して、本時の学習を、順を追って振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴した映像のスクリーンショットなど視覚的な資料を活用しても可。
	<p>【本時のポイント②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今まで学習したことを元に、全員交代で洗顔をする。 洗面器等を用意し、全員の前で順番に活動し、お互いが見合い、学び合えるように、児童の配置や環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・洗顔をしている児童のよい点に気づけるよう、見ている児童への問いかけを工夫する。 ・水が苦手な児童は、番組最後で紹介した方法で顔を拭いても可とする。
	<ul style="list-style-type: none"> ○学習したことを、これからの生活で生かすことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行や宿泊学習に結びつけても可

【他の教科との関連】 **生活科** 2段階 ア 基本的生活習慣

(イ) 身近な生活に必要な身近処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けること。

5 評価

- ・「なでる」と「あろう」の違いに気がつき、「あろう」ことへの知識や理解を深めることができたか。
(知識・技能)、(思考力・判断力・表現力等)
- ・番組で紹介されたポイントや簡単なあそびを参考にし、顔を実際に洗う（拭く）ことができたか。
(知識・技能)

